

横川ダムの渇水補給の効果について

新潟県関川村、山形県小国町における8月の月降水量は、昭和51年の気象庁の観測開始以来、両地点ともに36年間で過去2番目の少なさとなりました。

このような状況のなか、横川ダムでは、小国町の松岡水位流量観測所で正常流量(2m³/s)^{※1}を下回った8月8日より9月30日までの間、断続的に36日間の渇水補給を行いました。渇水補給により、かんがい用水(山形県小国町、新潟県村上市、関川村)及び工業用水(山形県小国町)、水道用水(新潟県胎内市)等の安定的な取水に努めました。



9月19日の貯水池の状況



10月1日の貯水池の状況

※1) 正常流量(流水の正常な機能の維持のために必要な水量)
動植物の保護、漁業、舟運、水利流量等を考慮し、河川の維持に必要な流量

同時発表記者クラブ

山形県政記者クラブ
新潟日報社 村上支局
村上新聞社
いわふね新聞社
NHK新潟放送局村上報道室

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
副所長(河川) 弘田 英人
TEL: 0254-62-3211(代)
横川ダム管理支所長
前田 光昭
TEL: 0238-65-2363(代)

荒川の平成24年夏期の渇水の状況について（その1）

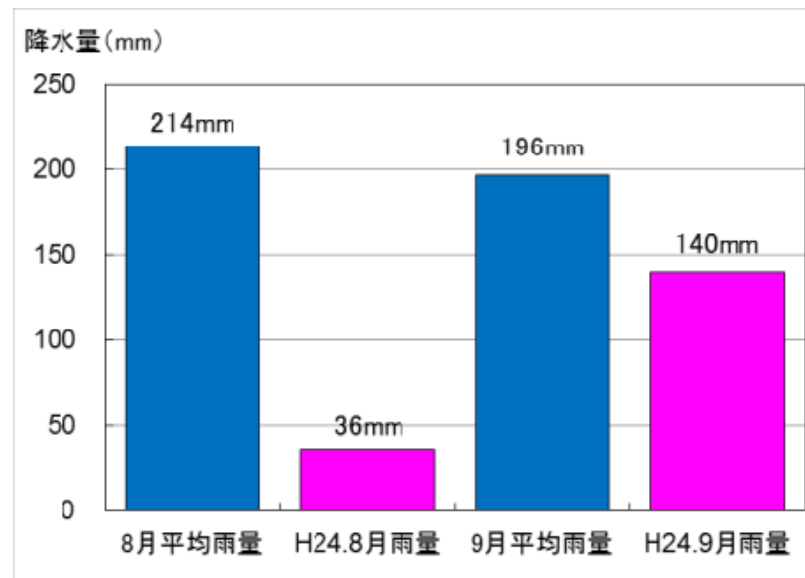
○雨量の状況

8月の月降水量は、新潟県関川村で47.5mm、山形県小国町で36.0mmとなった。これは、昭和51年の気象庁の観測開始以来、両地点ともに観測期間36年間で**過去2番目の少なさ**であった。

▼雨量状況

	関川村下関				小国町小国			
	6月 (mm)	7月 (mm)	8月 (mm)	9月 (mm)	6月 (mm)	7月 (mm)	8月 (mm)	9月 (mm)
過去30年 平均雨量(mm)	160.3	249.1	189.4	184.1	185.6	300.9	214.2	196.7
平成24年雨量 (mm)	63.5	197.0	47.5	202.5	112.5	299.0	36.0	140.0
平年比	40%	79%	25%	110%	61%	99%	17%	71%

（気象庁HPより）



8月は平年の17%しか
雨が降っていない

小国町の8月、9月の雨量状況

荒川の平成24年夏期の渇水状況について（その2）

○河川の流況

小国町の松岡水位流量観測所では、5ヶ年の平均渇水流量を8月5日から9月30日まで断続的に57日間に渡って下回った。

（5ヶ年平均渇水流量：1年を通じて少ない方から10番目の日平均流量の5カ年平均 $2.85\text{m}^3/\text{s}$ ）

また、村上市の葛籠山水位流量観測所では、9月3日に最低水位-0.43mとなった。

これは、昭和45年からの国土交通省の観測開始以来、観測期間41年間で2番目の最低水位であった。

（過去最低は平成16年8月5日の-0.51m）

観測所名	河川名	正常流量 (m^3/s)	5ヶ年平均 渇水流量 (m^3/s)	5ヶ年平均渇水流量を継続的に下回った期間
葛籠山	荒川	概ね 9.0	17.50	7/28～9/30 65日間
松岡	横川	概ね 2.0	2.85	8/5～9/30 57日間



平成23年8月18日

平成24年8月8日

8月の昨年と今年の流況の比較（新潟県関川村辰田新地先）

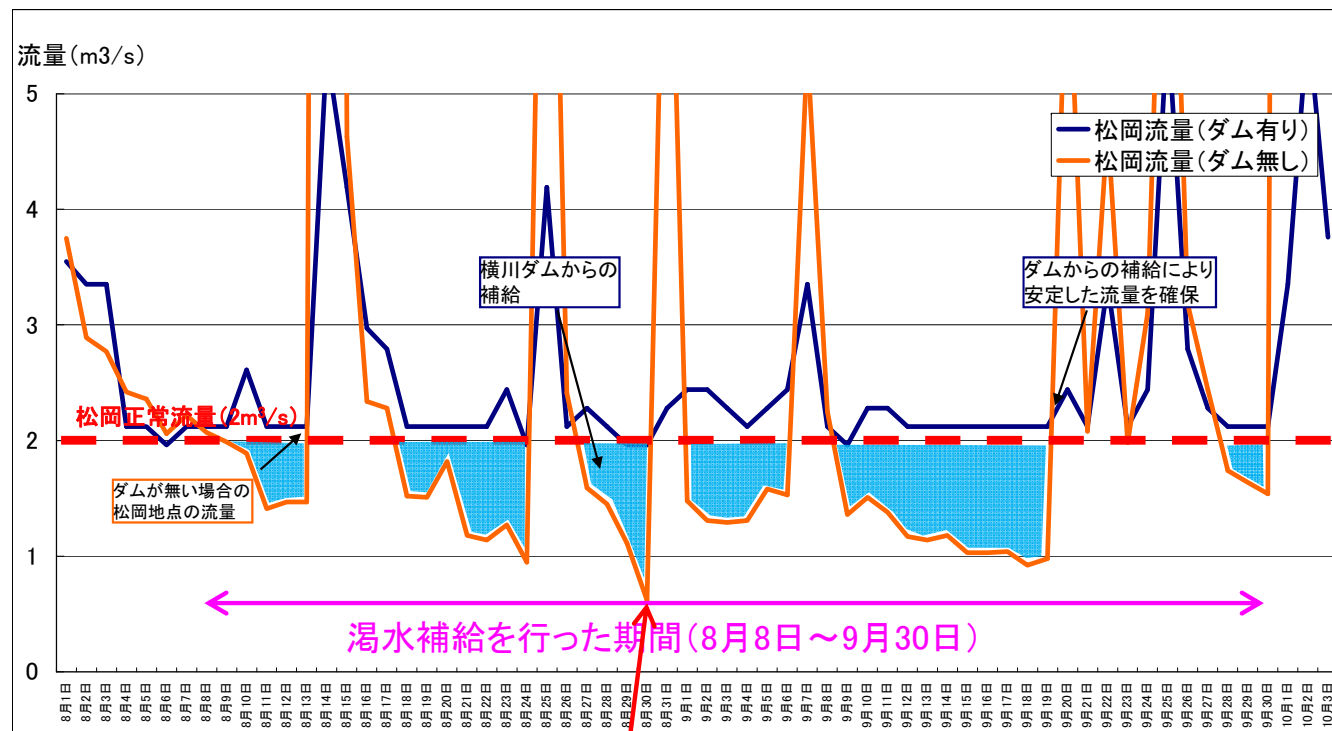


横川ダム渇水補給の効果について

○横川ダムからの渇水補給の効果について

横川ダムでは、小国町の松岡水位流量観測所で正常流量($2\text{m}^3/\text{s}$)を下回った8月8日より9月30日まで断続的に36日間の渇水補給を行った。

これらにより、**かんがい用水**(山形県小国町、新潟県村上市、関川村)及び**工業用水**(山形県小国町)、**水道用水**(新潟県胎内市)等の、安定的な取水に寄与し、荒川の正常流量※¹の確保を行った。



新潟県村上市花立地先の状況
(9/3葛籠山水位観測所今年の最低水位観測時)

この期間のうち、8月30日には最低流量 $0.78\text{m}^3/\text{s}$ となり、ダムから渇水補給することによって、正常流量の $2.0\text{m}^3/\text{s}$ を確保した。

※¹ 正常流量(流水の正常な機能の維持のために必要な水量):

動植物の保護、漁業、舟運、水利流量等を考慮し、河川の維持に必要な流量

※² 瀬切れ: 河床が露出して、流水が途切れてしまう状態

8月から9月にかけて、流量が少ない状況が続いたが、瀬切れ※²の状況は見られなかった。